船小ハイブリッドパワー

－ 学校と家庭を結ぶ －

校長室だより　No.33

“やさしく かしこく たくましく”

～ 本気と礼節の教育 ～

令和4年11月29日　文責:安生昌弘

◆ 成長できたマラソン記録会

先週までの全学年のマラソン記録会が終了しました。大きな事故もなく終了できましたのは，事前の健康調査や日頃の健康観察など，保護者の皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

マラソン記録会は，どの学年も素晴らしいものとなりました。随所に，子ども達が，ひたむきに頑張る姿を見せてくれたからです。この“ひたむきに頑張る姿”こそが，私たち教職員が子ども達に求めている姿なのです。この姿は，記録会当日だけ見せることができる姿ではありません。

記録会の10日位前のことです。ある女の子が朝のマラソン自主練習の為に昇降口から「あーあ。マラソンは辛いなあ。」と言いながら出てきました。私が「そうだよね。辛いよね。」と声をかけると，「でも，わたし，がんばる!」と校庭に出て行きました。「がんばっているなあ。あの子は，もう自分の弱い心に打ち勝っているなあ」と爽やかな気分になりました。その時に，どの学年のマラソン記録会も素晴らしいものになることが確信できました。何事にも大事なのは「練習」なのだと思いました。

◆ 絶好の機会，教育懇談

昨年まで9月に行っていた3回目の授業参観を今年は昨日行いました。これは，来月に長い期間をかけて行う教育懇談を充実させたいという考えからです。授業参観で見ていただいた，お子さんの様子を基に担任の先生とじっくり話し合っていただきたいというわけです。親御さんの力と先生の力を合わせて「ハイブリッドパワー」にする絶好の機会が教育懇談です。ぜひ胸襟を開いて話し合いをされ，お子さんの教育をより効果的なものにしましょう。限りある時間の中で，お子さんのより良い教育の在り方についての充分な話し合いができることを願っています。

◆ ＳＮＳの事件防止は小学生から

昨日の教育講演会で田村警察署の方からSNSの事件防止の話をお聞きしました。小学生のインターネットやスマホとの付き合い方の注意点が良く分かる内容でした。PTA教養委員会の皆様，ありがとうございました。

10日ほど前の報道によると，県内の女子中学生がSNSで知り合った兵庫県私立高校教員から，今年8月に被害を受けていたと思われます。SNSの事件が他人事ではないことを知らされました。市内の中学生の多くが自分用のスマホを所持していたり，家族のスマホを使ったりしているそうですが，小学生の内から所持していたり，使ったりしている子どももいるようです。ですから，SNSに起因する犯罪を防ぐ教育は中学生になってからでは遅いのです。小中学校と家庭が連携しなければ，子どもを守ることができません。ここにもハイブリッドパワーが必要かも知れません。ゲーム機や電話機能が外された中古スマホもSNSとつながるので注意が必要です。

学校と家庭がタッグを組み，一つ（ハイブリッド）になって2倍以上の力（パワー）で効果的に子どもたちを育てたいと願い，校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。